

『皆様こんにちは、爽やかな涼風を感じる季節を迎えました。』

虫の鳴き声に爽やかな秋風、田んぼの稲穂も黄金色に染まりだし、季節は夏から秋に移り替わりました。

スポーツの秋、食欲の秋、読書の秋、実りの秋、芸術の秋などと言われるように、秋は人々の活動が一年の中で一番活発になるのでしょうか。

健康には十分ご留意され、様々な分野で精一杯ご活躍ください。

さて、このたび北河内4市リサイクル施設環境保全推進連絡協議会では、情報発信紙『協議会だより 第8号』を発行しました。

今号も、去る8月17日(木)に開催されました第8回協議会(自治会選出委員は13名が出席)の内容について、お知らせします。



## 第8回協議会 次第

### \* 施設建設工事請負業者担当者の紹介

#### 1. 事業の進捗状況について

#### 2. 施設整備について

#### 3. 協議会の運営について

#### 4. その他



まず、協議会の開始に先立って、建設工事請負業者『新明和工業株式会社』の工事担当者(現場代理人・営業担当者)に出席してもらいましたので、事務局からその紹介がありました。

会議に入り、次第の1番目

「事業の進捗状況について」、事務局から前協議会(第7回)以降の事業の進み具合や、これからの予定などについて、次の様に報告がありました。

◎ 7月1日に、周辺30自治会の住民を対象とした「事業の進捗状況及び造成工事の説明会」を市民会館小ホールにて開催しました。

◎ 7月7日に、平成18年第1回組合議会臨時会が開催され、施設建設工事請負契約の締結に

ついて議決されましたので、施設建設工事の本契約を締結しました。

◎ 7月14日に、地元自治会である打上自治会(田伏会長)の役員を対象とした『敷地造成工事説明会』を打上公民館にて開催しました。

◎ 造成工事については、7月18日よりダンプトラック約10台で土の搬入を開始し、7月26日から重機が入って、タイヤローラーで締め固めながら盛土工事を進めている状況です。

現地点(8/17)で、敷地の東側(第二京阪道路側)及び北側(打上川側)が、ほぼ計画の高さまで土が盛られた状況であり、搬入された土の量は約6,000 m<sup>3</sup>、率では2/3程度です。その他の工事として、排水関係の工事が完了したので、敷地内に雨が降っても、排水ができる状況となっています。

現時点(8/17)での工事の進捗は約半分程度です。

◎ 今後のスケジュールについては、ほとんど以前に説明した内容に変更はなく、今年の10月頃に施設建設工事の説明会を行い、工事に着工していきたい。平成19年12月に工事完成・引き渡しを受け、平成20年1月には施設稼働をしていく予定です。

次に、次第の2番目「**施設整備について**」事務局から次のように説明がありました。

◎ **施設建設工事の工事工程表(案)について**

土木建築工事・プラント工事ともに8月中は、発注仕様書の確認及び基本的な設計を行い、9月から11月までの3ヶ月間で実施設計を行っていきま。そして、実施設計及び諸官庁への手続き等が完了した後、12月から工事に着手する予定です。

土木建築工事については、12月から平成19年3月迄に、地下ピット及び建物の基礎工事を、平成19年4月から6月の3ヶ月間で建物の躯体工事(建物の骨組み工事)を、7月から11月の5ヶ月間で仕上げ工事及び外構工事を、それぞれ行って、11月末で建物の工事がほぼ完了する予定です。

プラント工事については、12月から平成19年7月までの8ヶ月間でプラント機器の製作を行い、平成19年6月から9月の4ヶ月間で、完成したプラント機器の搬入及び現場への据付工事を行います。

平成19年7月からプラントに関する配管工事を、8月下旬から3ヶ月間で電気・計装工事をそれぞれ行います。

プラント工事も11月下旬で完了し、試運転、調整、運転指導及び検査等を行い、12月末で完成の予定です。

◎ **施設について**

当初、今回の協議会で、建築物の外観イメージ図を協議していただく予定でしたが、基本設計が作成途中であることから、本日は、構造設計を進める上で屋根の形状を決める必要がありますので、最近建設された施設のイメージ図を参考にリサイクル施設の屋根の形状について協議をお願いします。

A案は陸屋根タイプ(屋根が平らな建物のタイプ)で、機器を建物内に納める場合の省スペース化が図れ、空間を無駄なく有効に利用でき、建物自体

がシンプルになるといった、機能を重視したタイプの建物で、屋上を利活用することが可能です。

B案は切妻タイプで、一般住居の屋根の形状を大きくしたタイプであり、親しみやすくなっています。

C案はドーム型タイプで、屋根形状を曲線にすることにより、建屋全体に柔らかみをだしています。

D案は片流れタイプで、陸屋根と切妻を合わせることに、フラットな屋根の部分の角を取り除き、外観の形状を柔らかくしています。

なお、外観の色彩につきましては、今回、屋根の形状を決定し、今回の協議会に提案をしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いします。

これに対して、協議会では次の様な意見や質問がなされました。

○ イメージ図の各施設は、すべて鉄骨造でALC仕上げとなっている。従来から鉄筋コンクリート造と説明を受けてきたが、今回のリサイクル施設はどのような構造になるのか？(回答：基本的には鉄筋コンクリート造ですが、機械棟は広い空間が必要である事から、柱の間隔が広く取れる鉄骨造となります。)

○ 屋上緑化を行うのであれば、屋根の形状も限られてくるのではないか？(回答：屋上緑化を行っていく予定で、その箇所は陸屋根タイプとなります。)

○ 具体的な施設全体のイメージ図がない状態で、屋根の形状や施設のイメージを議論することは困難だ。(回答：次回、建築物の外観イメージ図等を提案していきたいと考えています。)

次の次第「**協議会の運営**」については、今回の協議会のテーマを、①事業の進捗状況について、②施設整備について、③協議会の運営について、④その他とし、9月21日(木)午後7時半からと決まりました。



発行：北河内4市リサイクル施設環境保全推進連絡協議会  
連絡先：北河内4市リサイクル施設組合 TEL：072-823-2038  
URL：http://www17.ocn.ne.jp/~recyclek/index.html

